

科目名	ガスエネルギー実習 2							年度	2025
英語科目名	Gas Energy Training 2							学期	後期
学科・学年	電子・電気科 電気工学コース 2年次	必／選	選 2	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	連携企業担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ガス技術者		
【科目の目的】									
世界、日本のエネルギー事情を元にガスエネルギー利用の必要性、利用方法、電気エネルギーとの関係、ガス設備などについて学び、再生エネルギーの普及やエネルギー自由化など多様化するエネルギー事情の中で適切な電気エネルギーを選択、取り扱うことが出来る知識を身につける事を目標とする。									
【科目の概要】									
コージェネレーションに関するシステムや実運用、周辺機器の取扱い方法などについて実習を通して学ぶ。									
【到達目標】									
世界、日本のエネルギー事情を元にガスエネルギー利用の必要性、利用方法、電気エネルギーとの関係、ガス設備などについて学び、再生エネルギーの普及やエネルギー自由化など多様化するエネルギー事情の中で適切な電気エネルギーを選択、取り扱うことが出来る知識を身につける事を目標とする。									
【授業の注意点】									
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。実習科目の為、理由の有無に問わず遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ガスコージェネレーションシステムを理解し、適切に運転・メンテナンスができる		ガスコージェネレーションシステムを理解している		ガスコージェネレーションシステムを知らない				
到達目標 B	ガスエンジン発電機を理解し、運転・メンテナンスができる		ガスエンジン発電機を理解している		ガスエンジン発電機を知らない				
到達目標 C	ボイラーの構造を理解し、保守・メンテナンスができる		ボイラーの構造を理解している		ボイラーの構造を知らない				
到達目標 D	非常用発電機設備を理解し、保守・メンテナンスができる		非常用発電機設備を理解している		非常用発電機設備を知らない				
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験：70％試験を総合的に評価する。小テスト：15％授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

